



週間情報



No.0629

発行日 令和6年7月23日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03-3234-1321

消防本部の動き

行事

◆ はしご付き消防自動車お披露目式を実施

四国中央市消防本部（愛媛）

四国中央市消防本部では、令和6年6月28日（金）、四国中央市消防防災センターにおいて、35m級先端屈折式はしご付き消防自動車お披露目式を実施しました。

同消防自動車の一部には、当市発足20周年の記念ロゴと、シティプロモーション活動の「おりなすロゴ」のデザインを取り入れ、当市のPR活動の一翼を担う車両としました。

当日は、当市の理事者と市議会議員に同消防自動車を披露したほか、新機能などを紹介しました。

今後は、同消防自動車を災害活動と各種イベントにおいて有効に活用し、住民の安全・安心の確保に努めてまいります。



【はしご付き消防自動車】



【四国中央市発足20周年記念ロゴ】

◆ 第45回原子力発電所等所在市町村消防情報連絡会総会を開催

唐津市消防本部（佐賀）

唐津市消防本部では、令和6年7月4日（木）、福島県双葉郡楡葉町において、第45回原子力発電所等所在市町村消防情報連絡会総会を開催しました。

この総会は、原子力発電所などが所在する全国15消防本部（会員）で組織されており、今年度は、当消防本部が事務局を担当しています。

総会では、総務省消防庁の中越特殊災害室長、開催地である双葉地方広域市町村圏組合管理者の篠木葛尾村長、福島県原子力安全対策課などから7人の来賓をお迎えし、各消防本部が抱える原子力防災に関する諸問題についての情報交換や、来賓からの助言や指導により、会員相互の情報連絡体制をさらに強化するものとなりました。

なお、令和7年度の同総会は、敦賀美方消防組合消防本部（福井）において開催予定です。



【総会の様子】

訓練

◆ 解体予定の建物を活用した災害対応・連携救助訓練を実施

赤磐市消防本部（岡山）

赤磐市消防本部では、令和6年6月28日（金）、当消防本部と隣接する東備消防組合消防本部と合同で、解体予定の建物を活用した災害対応・連携救助訓練を実施しました。

この訓練は、実災害に近い環境下において訓練を行うことで、災害対応能力の向上を図るとともに、同消防本部と連携を強化することを目的として実施したものです。

当日は、「サイロ内において要救助者が埋没した。」「ベルトコンベヤに要救助者が挟まれた。」などの想定で、両消防本部が連携した活動を行い、大規模・複雑化する災害対応の第1歩として、実戦的な経験を積む貴重な訓練となりました。

今後も、救助技術の向上を図るとともに、住民の安全・安心の確保に努めてまいります。



【訓練の様子】



【訓練後の記念撮影】

◆ 事業所と合同で無人航空機を活用した捜索訓練を実施

春日部市消防本部（埼玉）

春日部市消防本部では、令和6年7月2日（火）、3日（水）の2日間、古利根川において、株式会社セキドパートナーズと合同で、無人航空機を活用した捜索訓練を実施しました。

この訓練は、大規模災害時などにおける無人航空機の運用に関する協定を締結している同社と、連携を強化することを目的として実施したものです。

当日は、「市内で氾濫が発生し、数日が経過しているが、いまだに行方不明者がいる。」との想定で、無人航空機と救命ボートを活用した合同捜索訓練を行いました。

今後も、関係機関との連携強化を図るとともに、消防防災体制の充実・強化に努めてまいります。



【訓練の様子】



【訓練後の記念撮影】

◆ 解体予定の建物を活用した災害救助合同警備訓練を実施

岩国地区消防組合消防本部（山口）

岩国地区消防組合消防本部では、令和6年7月3日（水）、山口県警察本部と、解体予定の建物を活用した災害救助合同警備訓練を実施しました。

この訓練は、今後、発生が懸念される各種自然災害に備えるため、同警察本部と連携を強化し、迅速かつ効果的な災害対応能力の向上を目的として実施したものです。

当日は、「大規模地震が発生し、要救助者が倒壊建物に閉じ込められている。」との想定で、ドア開放訓練、傷病者搬送訓練、CSR訓練、ブリーチング訓練、ショアリング訓練、崩落監視システム設定訓練などを、同警察本部と連携して実施しました。

今後も、各種災害を想定した合同訓練を継続し、災害対応能力の向上を図るとともに、住民の安全・安心の確保に努めてまいります。



【訓練の様子】

研 修

◆ 救急支援活動研修を実施

つくば市消防本部（茨城）

つくば市消防本部では、令和6年7月1日（月）、3日（水）、5日（金）の3日間、救急支援を行う当消防本部の消防隊員と救助隊員を対象に、救急支援活動研修を実施しました。

この研修は、近年、当消防本部での救急支援出場が増加傾向にあることから、救急事案対応能力の向上を目的として実施したものです。

当日は、医学的知識の座学を行った後、BLSの基本手技訓練と救急支援隊が先着してから後着の救急隊へ引き継ぐまでの想定訓練を実施しました。

今後も、計画的に救急訓練を継続し、救急事案対応能力の向上を図るとともに、住民の安全・安心に努めてまいります。



【座学の様子】



【想定訓練の様子】

そ の 他

◆ 救急活動協力者に感謝状を贈呈

生駒市消防本部（奈良）

生駒市消防本部では、令和6年7月5日（金）、救急活動協力者の3人に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、同年5月14日（火）、市内の駅構内において、心肺停止となった10代男性に対して、付近にいた3人が協力し、119番通報、胸骨圧迫、AEDを活用した除細動を実施したものです。

男性は、救急隊が到着した時には、心拍と呼吸が回復しており、病院で治療後に社会復帰しました。

当日は、男性も同席し、「助けてもらっていなければどうなっていたことか。心からありがたいの気持ちでいっぱいです。」と感謝の言葉を述べました。救急活動協力者の1人からは、「救いたい一心で救護しました。人の命を救えたことを誇りに思い、元気な顔を見ることができ心から嬉しく思います。」と述べていました。



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 査察巡回教養を実施

東京消防庁（東京）

東京消防庁小平消防署では、令和6年6月24日（月）、当署の交替制職員と査察専従職員を対象とした査察巡回教養を実施しました。

これは、新たな防火査察の執行体制の試行に伴い、本試行の趣旨説明、多数の対象物を検査するための選択査察要領、検査時の着眼項目などについて、職員間で共有することを目的として実施したものです。

当日は、当庁の査察課職員の2人が講師となり、現場の実情を反映した内容を取り入れながら、新たな防火査察の執行体制について共有し、効果的で実践的な教養となりました。

出席した職員から、「新体制の試行開始に伴う不安が教養により払拭され、具体的な判断基準や手順を学べた。」などの感想を聞くことができました。

今後も、署員一丸となって、査察業務を適切に執行し、住民の安全・安心の確保に努めてまいります。



【査察巡回教養の様子】

◆ 応急手当オンライン授業を実施

うるま市消防本部（沖縄）

うるま市消防本部では、令和6年6月13日（木）、25日（火）、7月3日（水）の3日間、当市の小学校17校の小学6年生を対象に、応急手当オンライン授業を実施しました。

当日は、当市教育委員会と連携し、応急手当の必要性を伝えるための座学、ペットボトルを活用した胸骨圧迫の実技、AEDの取り扱い要領を配信しました。

今後も関係機関と連携し、応急手当普及啓発に努めてまいります。



【応急手当オンライン授業の様子】

◆ 花火指導を実施

太田市消防本部（群馬）

太田市消防本部では、令和6年7月4日（木）、保育園の園児を対象に、花火指導を実施しました。

これは、本格的な夏を迎えるに当たり、子どもたちの花火による事故防止と火災予防教育を目的として実施したものです。

当日は、女性防火クラブ員が園児に対して、紙芝居により花火の注意点を説明した後、実際に手持ち花火を使用して安全な遊び方を確認しました。園児たちは問いかけに元気いっぱいに応え、最後まで興味を持ちながら取り組む姿を見ることができました。

同クラブ員による花火指導は昨年度からの取り組みであり、同クラブ員は、「とても緊張しましたが、園児たちは楽しそうに紙芝居を見てくれました。今後も、地域の防火意識高揚に貢献していきたいと思います。」と述べていました。



【紙芝居の様子】



【花火指導の様子】

◆ 「暑さを乗り切ろう！熱中症予防講習会」を開催

根室市消防本部（北海道）

根室市消防本部では、令和6年7月5日（金）、「暑さを乗り切ろう！熱中症予防講習会」を開催しました。

この講習会は、昨年、当市において熱中症による救急搬送件数が過去最多を記録したことから、熱中症の対処法を周知し、予防につなげることを目的として開催したものです。

当日は、30人の市民が参加し、大変有意義な講習会となりました。

今後も、市民の要望やニーズに沿う講習会を継続し、応急手当の普及啓発活動に努めてまいります。



【講習会の様子】

◆ 「消防署開署記念イベント」を開催

春日井市消防本部（愛知）

春日井市消防本部では、令和6年7月7日（日）、「消防署開所記念イベント」を開催しました。

このイベントは、同年4月から運用を開始した新消防署の開署を記念して、同消防署周辺の住民に対し、消防行政を広報することを目的として開催したものです。

当日は、春日野部屋の清見鴻親方（元栃煌山）と現役力士の碧山関を1日消防署長に委嘱し、1日消防署長任命式、救助技術訓練の展示、放水体験、消防車両の展示などを行いました。

また、新消防署見学ツアーも行い、普段入ることのできない場所を見学していただき、住民の防火・防災意識の向上を図ることができました。



【1日消防署長任命式後の記念撮影】



【イベントの様子】

◆ 火災予防ポスターを作成

日光市消防本部（栃木）

日光市消防本部では、令和6年7月8日（月）、火災予防ポスターを作成しました。

このポスターは、「八王子市・茗小牧市・日光市姉妹都市盟約50周年」を記念し、江戸時代に「日光火之番」として活躍した八王子千人同心をイメージし作成したものです。

また、同ポスターに関する情報を当市の公式ホームページに掲載しました。

今後も、火災予防啓発を図るとともに、安全・安心な観光地を維持してまいります。



【火災予防ポスター】

消防庁通知等

◆ 文化財建造物等の防火対策に係る注意喚起等について

(事務連絡、令和6年7月12日)

消防庁予防課から各都道府県消防防災主管課、東京消防庁・各指定都市消防本部あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

昨今、文化財建造物等の保存修理工事を実施中の仮設物内において火災が発生しました。

現在、この火災について管轄消防本部により火災原因調査が行われているところですが、工事等の際の出火防止対策、消防用設備等の適切な維持管理、火災等の初動体制の再確認に万全を期すよう、引き続き文化財建造物の関係者への御指導をお願いします。

—以下省略—

○ 全文は、ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/240712_yobou_jimul.pdf) に掲載されています。

(問合せ先)
消防庁予防課予防係
担当：泉、中臺
電話：03-5253-7523
E-mail：t.nakadai@soumu.go.jp

◆ 蛍光ランプ交換に関する情報提供について

(事務連絡、令和6年7月12日)

消防庁予防課から各都道府県消防防災主管課、東京消防庁・政令指定都市消防本部あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

先般、「蛍光ランプ交換に関する安全啓発リーフレットの送付について」(令和6年6月10日付け事務連絡)により、一般照明用蛍光ランプの代替品として LED ランプを使用する際の注意喚起をしたところですが、下記のとおり補足事項を情報提供いたします。

—以下省略—

○ 全文は、ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/240712_yobo.pdf) に掲載されています。

(問合せ先)
消防庁予防課予防係
担当：泉 村松
電話：03-5253-7523
E-mail：j.muramatsu@soumu.go.jp

情報提供

◆ 第14回全国消防職員親善空手道大会

第14回全国消防職員親善空手道大会実行委員会

全国の消防職員空手愛好者が集い、空手道を通じて、相互の親睦、心身の鍛錬および消防職員同士の強固な連携を図ることを目的として、隔年で開催されております全国消防職員親善空手道大会は、開催幹事を青森県から広島県が引き継ぎ、今年「市制施行70周年」を迎える大竹市PR事業として、大竹市消防本部が主催で開催する運びとなりました。

また、大会終了後には、広島駅周辺のホテルで名刺交換会を開催する予定です。

つきましては、ご多忙中とは存じますが、全国各地から多くの方の参加をお待ちしていますので、ふるってご参加いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

- 1 日 時：令和6年11月30日（土） 10時00分から16時00分まで
（受付：10時15分）
- 2 大会会場：フジタスクエアまるくる大野（広島県廿日市市大野1328番地）



【前回大会の様子】

【問い合わせ先】

第14回全国消防職員親善空手道大会
実行委員会事務局

大竹市消防本部 三明 高士（ミヤケ タシ）

事務局 Mail：syoubou.karate.hiroshima@gmail.com

（申し込みは上記アドレスへお願いします。）

（締切日：令和6年8月16日）



機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事

②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0617）1ページ、機関誌「ほのお」2024年4号（4/25発刊）29ページを参照願います。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」担当：企画課 児嶋

原稿データは、kikakeikaku@fcj.gr.jpに送信願います。

④消防ワイド

【特徴】

- ・写真中心のビジュアルな広報
- ・紙媒体により記録性に優れる広報

【留意事項】

- ・文章は、Wordで100文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。
- ・消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 岡崎

原稿データは、honoo@ffaj-shobo.or.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

- ・原則毎週刊行される、速報性のある広報
- ・文章中心の情報量が多い広報

【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者からメールを返信させていただきます。

TEL：03-3234-1321「週間情報」担当：企画課 須藤

原稿データは、weekly@fcj.gr.jpに送信願います。